

右之品々致商賣候儀、先年月切ニ御定被成候得共、自今以後は此書付之通に、節ニ入候日より可致商賣之、略中右之趣相背者於有之は、急度曲事可申付者也。

五月

防葵

〔本草和名〕六房葵蘇敬注云、葉似葵、味似防風、故名防葵。一名梨蓋、一名房慈、一名爵離、一名農菓、一名利茹、一名方蓋、本條一名紫蓋、出兼名苑一名梁蓋、一名房苑、一名農莫、一名和利、出釋藥性一名方慈、一名梨蓋、出雜要談和名也。未奈須比。

〔倭名類聚抄二十〕防葵 蘇敬本草云、防葵和名夜末奈須比葉似葵、味似防風、故名防葵也。

〔箋注倭名類聚抄十〕陶注云、本與狼毒同根、猶如三建、今其形亦相似、圖經云、其葉似葵、每莖三葉、一本十數莖、中發一莖、其端開花、如葱花、景天輩、而色白。

〔重修本草綱目啓蒙十三〕防葵 ヤマナスビ和名ボタンニンジン ヒラノニンジン 御赦免
ニンジン 御免ニンジン 五島ボウフウ キボウフウ ケヅリボウフウ クヒボウフウ
江州 ボタンボウフウ 尾州 サツマボウフウ

種子ヲ傳ヘテウユ、世上ニ誤テ朝鮮人參ト云、葉ハ牡丹ノ葉ニ似テチイサク、白色ヲ帶テ粉ヲカケタルガ如シ、子生ヨリ三年ニシテ花實ヲ生ズ、其葉初ハ數箇叢生ス、三年ノモノハ莖ヲ抽ヅルコト三四尺葉互生ス、葉間ニ枝ヲ生ジ、夏月枝梢ゴトニ小白花ヲ開キ、傘ヲナスコト、大葉芎藭ノ如シ、花後實ヲ生ズ、又大葉川芎ノ如シ、實熟シテ苗根共ニ枯ル、故ニ二年ノ秋根ヲ取り用ユ、古ハ御免ヲ蒙リ嫩根ヲ製シテ、和人參ニ充テ賣ルコトアリ、故ニ御メン人參等ノ名アリ、老根ハ大ニシテ白色、今ハ其根ヲ縦ニ剖キ、削リ防風ト稱シ賣ル、コレ防風ノ偽物ナリ、肥前ノ五島ニテ多栽エ出ス、故ニ五島防風トモ云フ、

石胡荽

〔重修本草綱目啓蒙十六〕石胡荽 チトメグサ 京ウヅラグサ カハミグサ 播州ヒルグサ 江州